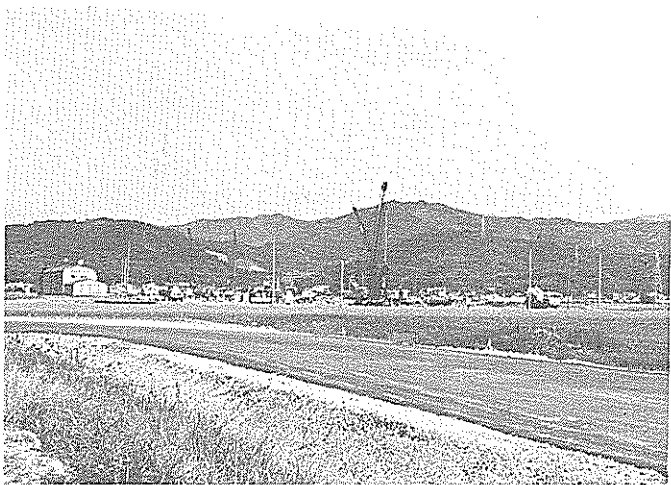


57年度一般会計 2億2900万円の黒字

6月市議会

し尿処理場、再度見直し 県立普通高校が岡豊町に

六月定例会市議会は六月十六日開会、二十五日までの十日間の日程で開かれました。今議会に提案された議案は、五十八年度一般会計補正予算（九千六百二十六万六千円）など十四件と報告（市長専決処分）七件で、いずれも可決、承認されました。また、小笠原市長は秋の市長選に出馬を表明、国沢助役は六月末日で退職するとの報告がありました。



待望の県立普通高校
が岡豊町中島に実現
（7月6日工事現場で）

小笠原市長は開会日の十六日、各議案の提案理由の説明に先立ち、当面する市政の諸問題について次のように述べました。（要旨）

【財政】五十七年度の出納閉鎖による財政状況をみると、一般会計で約二億二千九百万円の実質黒字となっている。老人保健、国保などの特別会計も黒字となっているが、住宅新築資金等の特別会計については赤字となりました。

また、開発公社に対する負債の支払いについては、計画どおり約二億三千円を行いました。財政事情はいぜん厳しいが、市

政遂行にあたっては萎縮することのないように努力します。

【空港】待望のジェット機第一便の就航日が間もなく決定され、空港ビルの建築も、今急ピッチで行われています。

田村川の改修、吾岡山およびその周辺の整備事業などの残事業も、今後引き続き計画的に行われます。民家防音工事についても、本年度内完了を目指して事業が進行中です。

【高速道路】四国横断高速自動車道関係では、工事用道路の用地買収が約九〇％くらい進んでおり、工事については五線中二線がほぼ完了、残りは現在建設中です。

また、インターチェンジの用地取得等も順調で、本線工事の着工もさほど遠くないと思います。

【同和】小集落地区改良事業は、残念ながら初年度は計画の三四・三割しか実施できませんでした。これは、土地の取得で地主と折り合いがつかず、やむなく本年度へ繰り越しています。今後全力をあげて取り組み、本年度の計画と並行して年度内完了を目指してさらに努力をします。

【学校建築】本年度は大條、稲生両小学校のほかに、香長中学校の建築を計画しています。十小小学校は、建設予定地の地盤が軟弱で、技術的、工期的にも一年延期への償還は計画どおりなんとかなる二億円を行っていい。

総合計画の粗案は、検討すべき点が多くありますので、指摘をお願いしたい。今のところ、審議会の設置など明確なスケジュールは決まっていますが、休むことなく取り組んでいる。

指定ゴミ袋の使用については、衛生委員（三十三人）さんの協力を指導しているが、一部の人がスーパーの袋や市販のビニール袋などを使用して守られていない。ステーションをきれいにする意味からも、朝早く出向いて行って指導したい。

近代的なし尿処理施設がないのは、文化都市とは言えない。広域処理場（野市町深瀬）へ参加せよとの声もあるが、市単独設置に変わりはしない。過去の取り組みを反省し、今後も努力する。

黒瀬し尿処理場は、今年度の契約は地元のご理解を得ている。複合ラグーン方式での処理はある程度成功しており、周辺地域に努力を認めてもらうためにも、その施設を引き取りたい。

ゴミ焼却場（香南斎場組合）は老朽しているが、公害を出さないような配慮をしながら続けざるを得ない。プラットホーム、洗車場の防音、防臭の改善は、もうすぐ取りかかれると思う。

本市にとっては、幼稚園から大学まで一貫した学校施設が整うことになり、将来の文化都市としての基盤ができることになりました。【し尿処理】し尿処理場の建設は、市民生活に直結する問題として取り組んできました。今後はこれまでの反省の上に立って、再度全般的な見直しを行い、市民のご理解とご協力を得ながら建設に向けて努力をしていきます。

【その他】黒瀬博：本市は千平方メートルの会場に「南国みどり館」を計画しています。「未来の農業」をテーマに、創意工夫をこらして、他館に劣らないようなものにしようという計画を煮詰めています。

○総合計画：行政変革期を迎え財政が厳しい時、限られた財源を効率的に運用し、行政効果の向上を図るためには計画行政が不可欠です。昨年度末、作成に取りかかっていた総合計画は、このほど基本構想および基本計画の粗案ができました。なお引き続き、短期実施計画の策定に取りかかっています。

野中、前浜地区での小集落地区改良事業は、土地の取得等に問題があり遅れている。過去と現在の買収価格の差が問題になっているが、今執行部で検討中だ。

住宅新築資金は四十八年から現在まで三百六十二件の貸し付けを行っている。うち四十八年からの滞納者は九十四件で累積額は約二千七百円だ。借受者の家庭の事情もあり滞納もあるが、両福祉館を通じて今後も回収に努力する。

小集落改良事業に全力
●野中、前浜地区での小集落地区改良事業は、土地の取得等に問題があり遅れている。過去と現在の買収価格の差が問題になっているが、今執行部で検討中だ。

●住宅新築資金は四十八年から現在まで三百六十二件の貸し付けを行っている。うち四十八年からの滞納者は九十四件で累積額は約二千七百円だ。借受者の家庭の事情もあり滞納もあるが、両福祉館を通じて今後も回収に努力する。

黒瀬博、本市は「南国みどり館」

58年度一般会計約9千6百万円を補正

六月定例会市議会では、一般質問の三日間に高島、溝淵（健）、中屋、山崎、吉村、岡林、今井、山岡、北岡、竹内、井上、堀川の各議員が質問し、市長の政治姿勢やし尿処理、教育などについて執行部の考えをたてました。執行部の答弁は次のとおり。

「たくさんい人へ」を目標

●非行、校内暴力については、一部の教員にまかせきりではなく、教職員全員が取り組むような体制づくりと、校下ぐるみの指導体制の確立に努める。あいさつ運動やゴミゼロ運動を推進し、地域、家庭で親と子どものつながりを持たす起爆剤になればと思っている。

●「たくさんい人へ」を教育行政の基本とし、具体的には①学力の向上②道徳教育の充実③体力の向上を三大の柱として取り組んでいく。

●米飯給食については現在週二回だが、今後増やせるかどうか研究してみる。

●歴史民俗資料館は、五十九・六十年度にかけ工事、六十一年度が、改築が急がれる学校や公民館

の建築を優先しているもので、もう少ししんぼう願いたい。とりあえず、大條小の体育館を建築して市民体育館との併用で、文化・体育活動にも利用できるようにしたい。

●同和教育は、学校教育では年次計画を立てて取り組む。社会教育では地区こん談会を本年度五十カ所を計画しており、啓蒙、普及活動に努める。